

第3節

通常保育時間内の活動・課外活動

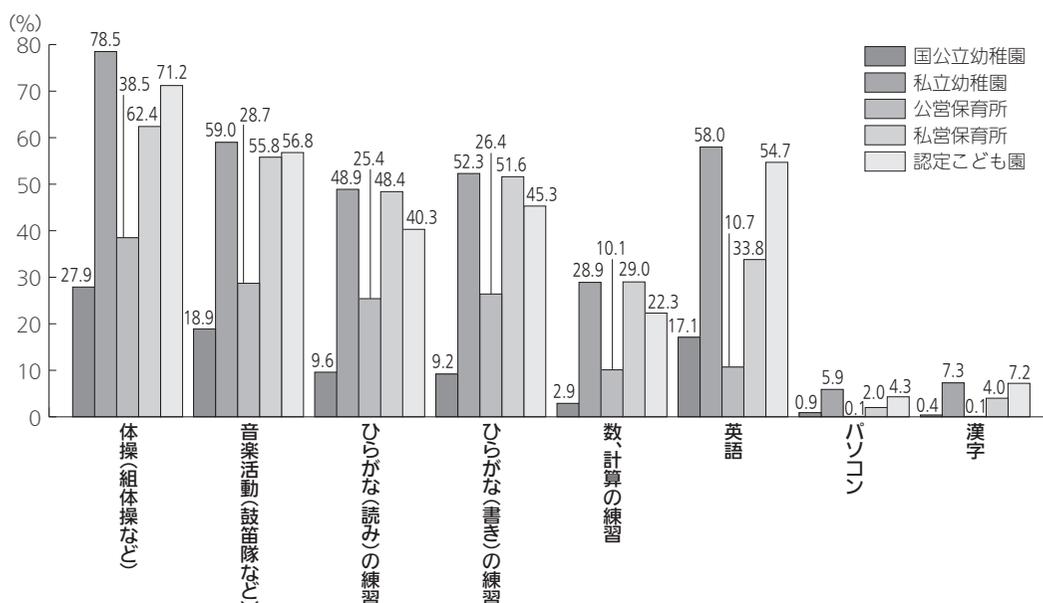
園の通常保育時間内に一齐に行う活動は、私立幼稚園では5～8割弱が「体操」「音楽活動」「ひらがな（書き）の練習」「英語」をあげている。園では、子どもの発達に合わせて活動を行う時期を配慮している。課外での有料の活動は、私立幼稚園では、「スポーツクラブ・体操教室」「英会話などの語学の教室」を実施しているが、おもな活動形式は、園の場所のみを提供し、運営は直接行わない形である。国公立幼稚園や公営保育所では、ほとんど行われていない。

改訂（改定）された幼稚園教育要領、保育所保育指針では、子どもの発達段階を考慮して、遊びを中心とした活動が改めて重視されている。本調査では、通常の保育時間に、クラス全員で一齐に行う活動について、9項目（「その他」を含む）をたずねた。図2-3-1は、園の区分ごとの結果である。総じて、幼保では、国公立幼稚園・公営保育所よりも、私立幼稚園・私営保育所のほうが、さまざまな活動を行っていることがわかる。また、認

定こども園でも、さまざまな活動が行われている。

園の区分ごとに、半数以上が行っている活動についてみてみると、私立幼稚園では、「体操（組体操など）」（78.5%）、「音楽活動（鼓笛隊など）」（59.0%）、「英語」（58.0%）、「ひらがな（書き）の練習」（52.3%）である。私営保育所では、「体操（組体操など）」（62.4%）、「音楽活動（鼓笛隊など）」（55.8%）、「ひらがな（書き）の練習」（51.6%）である。認定

図2-3-1 通常保育時間内に一齐に行う活動（園の区分別）



注1) 複数回答。
注2) 「その他」を除いて図示。

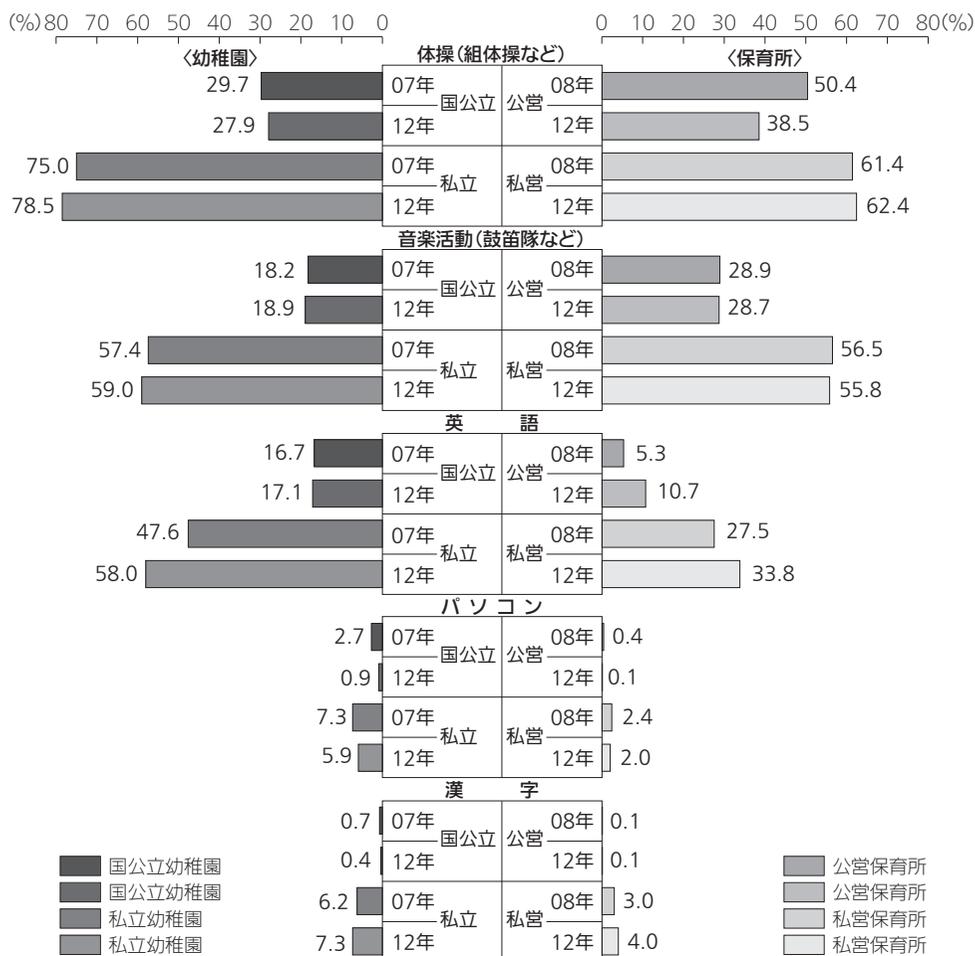
こども園では、「体操（組体操など）」(71.2%)、「音楽活動（鼓笛隊など）」(56.8%)、「英語」(54.7%)である。国公立幼稚園、公営保育所では、「体操（組体操など）」と「音楽活動（鼓笛隊など）」の活動率がやや高いが、いずれも4割を超えてはいない。活動の中では、「体操（組体操など）」と「音楽活動（鼓笛隊など）」が共通して第1位、第2位となっている。

幼稚園と保育所について、経年比較ができる活動について園区別にみたものが図2-3-2である。「英語」は、私立幼稚園で47.6%から58.0%（10.4ポイント）、私営保育所で27.5%から33.8%（6.3ポイント）と増加した。公営保育所でも、実施率は低い

が、5.3%から10.7%に5.4ポイント増加した。第5章で述べているとおり、私立幼稚園では、新たな園児の獲得が運営上のもっとも重要な課題となっているが、英語などさまざまな活動を取り入れていることも、園児獲得の対策のひとつであるのかもしれない。私営保育所でも、近年の保育所利用率増加に伴って、より保護者の要望に応えるようになったのかもしれない。その他の活動については、総じて経年で変化はみられないが、公営保育所の「体操（組体操など）」は、50.4%から38.5%と11.9ポイントも減った。

図2-3-3は、実施している各活動について、対象年齢をたずねた結果を幼稚園と保育所について、区分別にまとめたものである。

図2-3-2 通常保育時間内に一斉に行う活動（幼稚園・保育所・経年比較）



注1) 複数回答。
注2) 経年比較できる項目のみ。

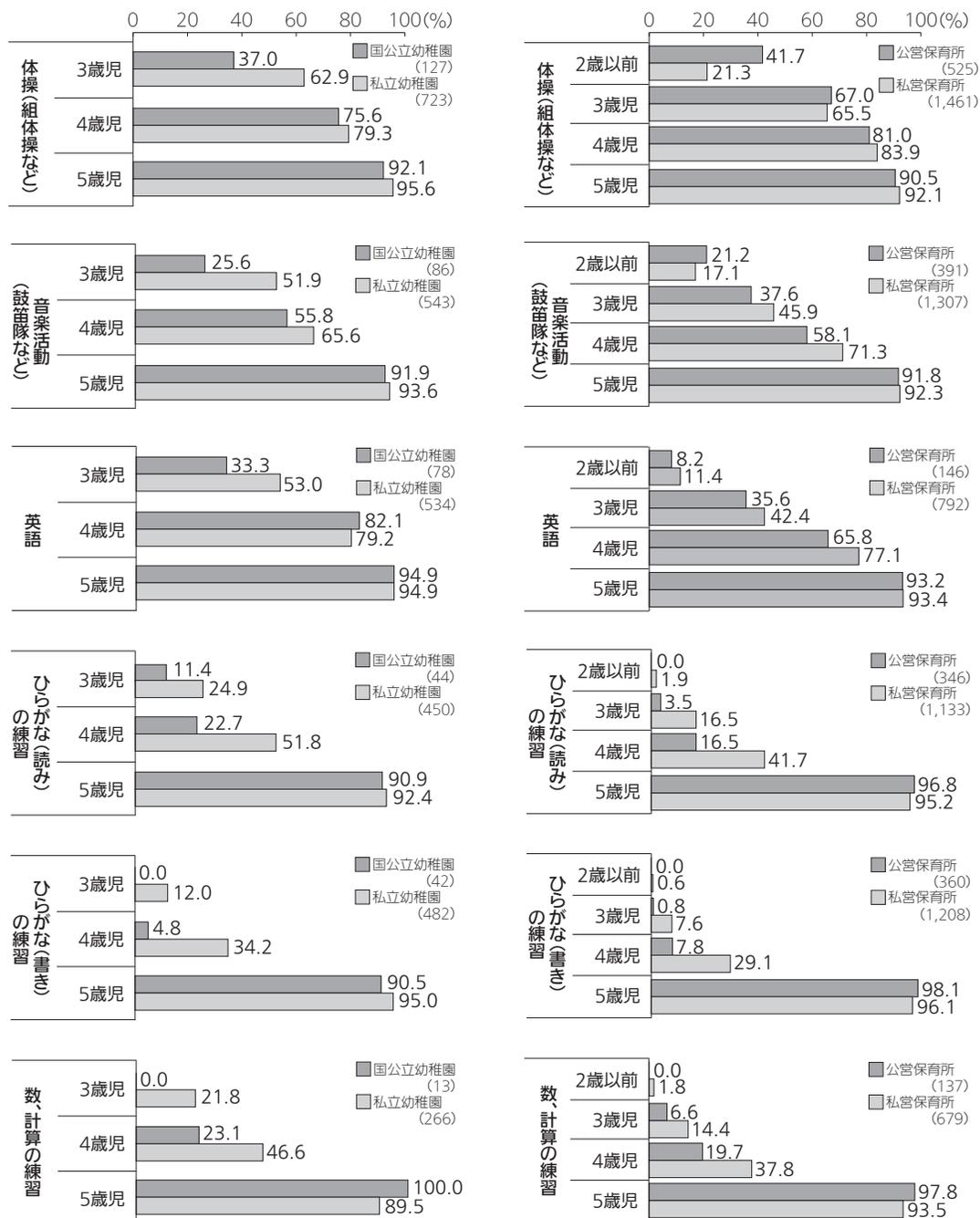
第2章 保育・教育的な活動

まず、各園とも活動率の高かった「体操（組体操など）」についてみると、国公立幼稚園以外は、3歳児で6割以上が行っている。「音楽活動（鼓笛隊など）」は、私立幼稚園が3歳児で5割を超え、もっとも早期から取り入れられている。その他の園では、4歳児で5割を

超える。「英語」については、私立幼稚園では3歳児で5割以上が取り入れ、4歳児では、すべての園で6～8割が取り入れている。

「ひらがな（読み）の練習」「ひらがな（書き）の練習」「数、計算の練習」については、私立幼稚園・私営保育所で4歳児から取り入

図2-3-3 通常保育時間内に一斉に行う活動（幼保・年齢別実施率）



注1) 活動を行っている園のみ。()内はサンプル数。

注2) 活動を行っている年齢を複数回答で選択。

注3) 「パソコン」「漢字」は図から除いて図示。

注4) 認定こども園はサンプル数が少ないため、分析から除外。

れる園が増え、5歳児では実施しているすべての園で9割前後になる。これらの結果から、総じて、子どもの発達に合わせて活動を行う時期を配慮していることと、そのなかでも、私立幼稚園はより早期から、さまざまな活動を行っていることがうかがわれる。私立幼稚園にとっては、園児の獲得のために、多様な活動を早期から充実させる必要があるのかもしれない。

表2-3-1は、私立幼稚園、私営保育所について、各活動の指導者を複数回答で選ん

でもらった結果をまとめたものである（実施率の低かった「パソコン」と「漢字」については割愛した）。結果をみると、「体操（組体操など）」と「英語」は、外部講師が指導を行っている割合が高い（「体操」78.4%、「英語」89.3%）。「音楽活動（鼓笛隊など）」や「ひらがな（読み）の練習」「ひらがな（書き）の練習」「数、計算の練習」は、外部講師に依頼することは少なく、園の保育者が行っていることがわかる。

表2-3-1 活動の指導者（私立幼稚園・私営保育所）

(%)

		私立幼稚園	私営保育所
体操（組体操など）	園の保育者	46.1	50.9
	外部講師	78.4	62.8
音楽活動（鼓笛隊など）	園の保育者	83.2	77.0
	外部講師	31.7	37.9
ひらがな（読み）の練習	園の保育者	94.9	89.8
	外部講師	5.1	8.6
ひらがな（書き）の練習	園の保育者	92.5	87.0
	外部講師	7.5	12.5
数、計算の練習	園の保育者	94.0	89.2
	外部講師	6.0	8.4
英語	園の保育者	17.6	12.9
	外部講師	89.3	91.3

注1) 複数回答。

注2) 「パソコン」「漢字」は除く。

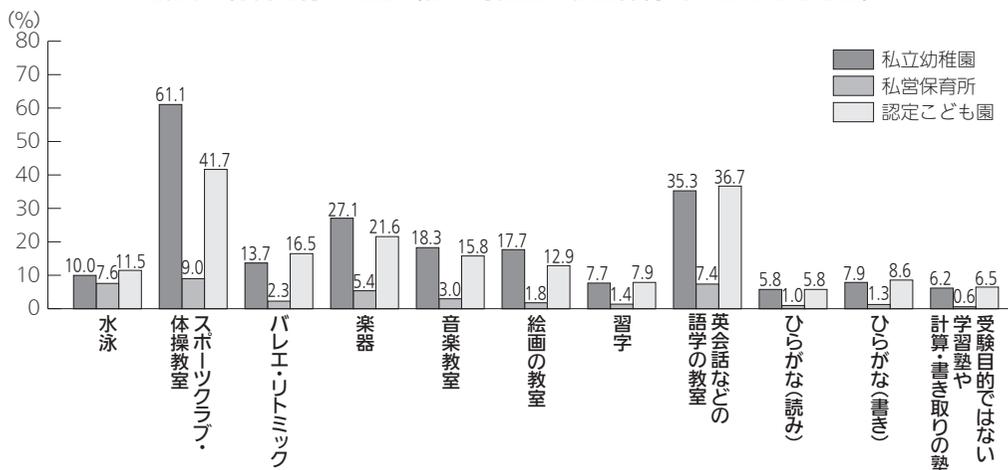
注3) 活動を行っている園のみ。認定こども園はサンプル数が少ないため、分析から除外。

第2章 保育・教育的な活動

本調査では、各園に対して、課外（通常の保育終了後）に有料の活動を行ったり、園外の習い事教室などへの送迎をしているかどうか、11項目についてたずねた。図2-3-4は、私立幼稚園、私営保育所、認定こども園について、「外部講師を招いて園が主催」「場所のみ提供」「園外の習い事教室などへ送迎」のいずれかに回答した割合である。国公立幼稚園、公営保育所については、すべての活動について1%以下であったため、割愛した。私営保育所は、当然のことながら、通常の保育時間が長いと、課外の活動を行う割合は低い。11項目について、私立幼稚園と認定こども園で活動を行っている割合が3割を超えるのは、「スポーツクラブ・体操教室」（私立幼稚園61.1%、認定こども園41.7%）と「英会話などの語学の教室」（私立幼稚園35.3%、認定こども園36.7%）のみであった。

「スポーツクラブ・体操教室」「英会話などの語学の教室」について、私立幼稚園ではどのような形で活動を行っているのかをみたものが図2-3-5である。「外部講師を招いて園が主催」「場所のみ提供」「園外の習い事教室などへ送迎」から複数回答で回答を求めた。もっとも多い形式は、「場所のみ提供」する形で、「スポーツクラブ・体操教室」は80.1%、「英会話などの語学の教室」は75.4%であった。外部の業者・団体などが、幼稚園から場所を借りて運営を行う形である。ついで、「外部講師を招いて園が主催」する形式が多く、「スポーツクラブ・体操教室」は24.2%、「英会話などの語学の教室」は26.8%であった。「園外の習い事教室などへ送迎」という形は、ほとんどなかった。運営の形態は問わず、課外の活動の場所はほとんどの場合が園内であることがわかった。

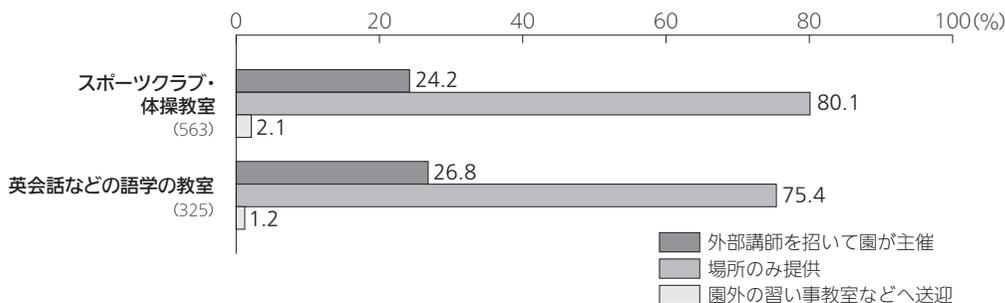
図2-3-4 課外に有料で行う活動（私立幼稚園・私営保育所・認定こども園）



注1) 「その他」を図から除いて図示。

注2) 複数回答。

図2-3-5 活動の形式（私立幼稚園）



注1) 図2-3-4で活動率が3割以上だった私立保育園の活動2項目のみ分析。

注2) 複数回答。

注3) ()内はサンプル数。